(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2021-7647
(P2021-7647A)
(43)公開日　令和3年1月28日(2021.1.28)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
A61C 15/02	(2006.01)	A61C	15/02	501	3B202
A46B 15/00	(2006.01)	A46B	15/00	H	

審査請求 未請求　請求項の数 1　ＯＬ　（全 5 頁）

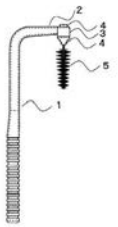
(21)出願番号　特願2019-123113 (P2019-123113)
(22)出願日　令和1年7月1日 (2019.7.1)

(71)出願人　719002311
佐藤　公一
宮城県仙台市太白区鹿野本町１６番５号
(72)発明者　佐藤公一
宮城県仙台市太白区鹿野本町１６番地５号

Ｆターム(参考)　3B202 AA03　AB15　EE07　EF06

(54)【発明の名称】裏面用歯間ブラシ

(57)【要約】　（修正有）
【課題】短時間で歯間と歯肉を容易に正確に安定して磨くことのできる裏面用歯間ブラシを提供する。
【解決手段】長手ロッド１は、歯の中央側になるように配置する。右側の歯間を磨く場合は、右手で長手ロッドを持ち、長手ロッドとブラシ５を略水平に保ちながら、直角に裏面から歯間にブラシを挿入することが容易にでき、短時間で、歯間と歯肉を容易に、正確に、磨きに偏りが無く、安定して、奥歯間まで磨く事が出来る。又、左側の歯間を磨く場合は左手で長手ロッドを持ち、長手ロッドとブラシを略水平に保ち、直角に裏面から歯間にブラシを挿入することで、奥歯間まで磨く事が出来る。又ブラシが摩耗した時は、ブラシ用差し込み棒付き台座４とブラシのみを交換すれば、資源の節約になる。
【選択図】図１



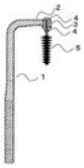
【特許請求の範囲】
【請求項１】
長手ロッド状の柄部の先端に直角に先端ロッドを設ける。先端ロッドの先端に直角に差し込棒挿入パイプを長手ロッドの柄部側に向かって平行に延びだすように設置する。ブラシ用差し込み棒付き台座に垂直にブラシを取り付ける。ブラシ用差し込み棒付き台座を差し込み棒挿入パイプに挿入する。複数本のブラシ用差し込み棒付き台座をまとめ板で一体にする。裏面用歯間ブラシ。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、歯間を磨くブラシに関するものである。
【背景技術】
【０００２】
側面から歯間を磨く事は容易でなく、特に奥歯の歯間を正確に短時間で磨く事は困難である事は知られている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２００３－３１９８３０
【特許文献２】特開２００８－１５４９０１
【特許文献３】特開２００９－２４０４９３
【特許文献４】特開２０１０－０８２０２９
【特許文献５】再表２０１６－１６７１９１
【特許文献６】特開２０１６－１９８５４６
【特許文献７】特開２０１８－０２５３０３
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
従来から不完全な歯間の清掃が、虫歯の原因とされていた。しかしながら歯間を正しく磨く事は簡単ではなく、特に奥歯の歯間を磨く事は容易でなく、正しく磨くには時間が掛かり、簡単ではなかった。本発明は以上の問題を解決するために、裏面用歯間ブラシを提供することにある。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
長手ロッド状１の柄部の先端に直角に先端ロッド２を設ける。先端ロッド２の先端に直角に差し込み棒挿入パイプ３を長手ロッド１の柄部に向かって平行に延びだすように取り付ける。ブラシ用差し込み棒付台座４とブラシ５を垂直になる様に取り付ける。ブラシ用差し込み棒付台座４の差し込み棒部を差し込み棒挿入パイプ３に挿入する。
以上の構成によりなる裏面用歯間ブラシ。
【発明の効果】
【０００６】
虫歯の原因とされていた、歯間を正確に、短時間で磨く事は困難です。長手ロッドとブラシを略水平な状態からブラシを裏面から歯並びに直角にブラシを歯間に挿入し、磨く事により、容易に、短時間で、正確に、安定して奥歯間まで、磨く事が出来る。このことにより、虫歯の患者数の減少が考えられ、医療費の低減に貢献できるという利点がある。ブラシが摩耗した時は、ブラシ用差し込み棒付台座とブラシを交換することにより、資源の節約に貢献出来る利点がある。

【図面の簡単な説明】
【０００７】
【図１】図１は本発明の組立平面図
【図２】図２は本発明の組立断面図
【図３】図３は本発明の先端ロッド２と差し込み棒挿入パイプ３単品図
【図４】図４は本発明の先端ロッド２と差し込み棒挿入パイプ３単品断面図
【図５】図５は本発明のブラシ用差し込み棒付台座４とブラシ５単品図
【図６】図６は本発明のブラシ用差し込み棒付台座４とブラシ５単品断面図
【図７】図７は本発明のブラシ用差し込み棒付台座４とまとめ板６平面図
【図８】図８は本発明のブラシ用差し込み棒付台座４とまとめ板６断面図
【発明を実施するための形態】
【０００８】
以下本発明の実施の形態を説明する。
（イ）　　長手ロッド１　　先端ロッド２　　差し込み棒挿入パイプ３
ブラシ用差し込み棒付き台座４　ブラシ５　ブラシ用差し込み棒付き台座４まとめ板６
本発明を使用するときは、長手ロッド１とブラシ５を略水平な状態からブラシ５を
歯の裏面から歯並びに直角に挿入し、長手ロッド１を歯の先端に接触
するようにして磨くと容易に、短時間で、正確に、安定して奥歯間まで良く磨ける。
【符号の説明】
【０００９】
１　　長手ロッド
２　　先端ロッド
３　　差し込み棒挿入パイプ
４　　ブラシ用差し込み棒付き台座
５　　ブラシ
６　　ブラシ用差し込み棒付き台座まとめ板

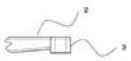
【図１】



【図２】



【図３】



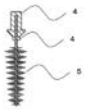
【図４】



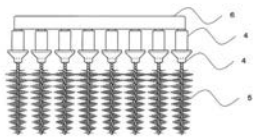
【図５】



【図６】



【図７】



【図８】

